

編集顧問

生田 房弘	石塚 典生
糸山 泰人	内山真一郎
大友 英一	梶 龍児
金澤 一郎	高坂 新一
作田 学	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	辻 省次
寺本 明	中里 洋一
中込 忠好	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	水澤 英洋
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

河村 満	(編集主幹)
神田 隆	桑原 聡
酒井 邦嘉	泰羅 雅登
三村 将	森 啓

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
木村 和美	久保 義弘
栗栖 薫	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

神経症候学は神経学の基本であり、“魂”ともいえると思います。

私は、横浜市立大学の学生ときに平山恵造先生の『神経症候学』を読み、神経内科医になりたいと思いました。ぼろぼろになった『神経症候学』第1版を病院でいつも使っているパソコンのそばの本棚にそっと置いています。元気がなくなりそうになったときには、この本を眺めることにしています。この本を見ると不思議なことに、若いときの気持ちを思い出すことができ、気分が変わります。専門医試験に合格した頃、自分の専門領域として神経心理学を選びました。ちょうどその頃、新規の画像診断法が次々に世に出ました。神経内科医として神経心理学にアプローチするためには「大脳病変の神経症候学」が必要であると考えました。現在でもこのアプローチが神経心理学研究に必須の手法であると考えています。これらが、私が神経症候学にとりわけ強い思い入れを持つ個人的理由であると思います。

1978年(昭和53年)10月に千葉大学神経内科の外来と病棟が新規に開設されましたが、そのときに病棟医として参加しました。1977年(昭和52年)の卒業ですから、卒業して1年半のときです。当時本邦では、まだ神経内科の認識は十分ではありませんでした。平山先生は千葉大学神経内科の初代教授で40代、活気に満ち溢れていらっしゃいました。現在とはずいぶん異なり、神経内科の研究手法も決して多くはありませんでした。神経病理学、神経生理学が研究の重要手法であったと思います。一方、神経症候学はX線CTやMRIの出現に背中を押されて、いま考えてみると花盛りの時期であったのかもしれません。

神経学の古典的な手法である神経病理学、神経生理学はこの30年間に見事に進歩しました。神経生化学は分子遺伝学と部分的に名前を変え、重要なアプローチとして誰もがその重要性を認めるようになりました。免疫学的手法も大切です。これらの多彩なアプローチが奏効して、新たな疾患の捉え方も生まれています。脳卒中やてんかん診療、認知症診療が神経内科学の中で重要な位置を占めるようにもなりました。再生医学をはじめとした「神経科学」の著しい発展は「神経学」「神経治療学」に大きな影響を与える可能性があります。まだ十分とは言えないかもしれませんが、神経学の重要性が日本国民全体に認識されつつあります。一方、神経症候学はもう古しい、新しいことは何もない、と思っている若い神経内科医も大勢いるようです。このような状況の中、本誌でいま、神経学の基本である「神経症候学」の古典をもう1度見直すことに意味がある、と考えました。

ご執筆はこの企画に賛同していただけるとされるベテランの先生方を中心にお願いしました。どれも力作で、どの論文にも神経症候学の現代的意味が明示されています。

古くから育んできた知恵と最新の知識の両方から学んで、未来の「神経学」を見据えたい、というのが、繰り返しになるかもしれませんが本号企画の意図であることを最後に述べておきたいと思います。

(河村 満)

BRAIN and NERVE (第66巻 第11号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2014年11月1日(毎月1回1日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

定価: 本体3,800円+税(送料実費)

電話 編集室直通(03)3817-5701 (小藤・風間・山崎)

2014年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

販売部直通(03)3817-5659

冊子版36,690円, 冊子+電子版(個人)41,690円/(共有)47,200円,

FAX (03)3815-7802

電子版(個人)36,690円/(共有)42,200円

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

広告申込 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

オンライン投稿 ID: brain パスワード: nerve

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2014, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, その都度事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。